

研究課題名	偏心性石灰化病変に対するOAとRA併用テクニックを用いた治療の有効性に関する他機関共同シングルアーム試験（OptimalCare）
実施責任者	所属・職名：循環器内科 部長
	氏名： 津田 卓真
研究の概要	偏心性石灰化病変に対する経皮的冠動脈形成術（PCI）の治療において、OrbitalAtherectomy（OA）とRotationalAtherectomy（RA）を併用した新規手技とRAのみを使用して治療した従来手技と比較することで、新規手技の有効性および安全性、さらにはその妥当性を検討します。
対象となる個人情報	カルテ情報や心臓カテーテル治療実施時に取得した医用画像を個人が特定できないよう匿名で利用します。
実施の期間	西暦 2023 年 9 月 1 日より
	西暦 2028 年 12 月 31 日まで
研究対象	本院を受診し、冠動脈血管の偏心性石灰化病変に対してロータブレータを使用した心臓カテーテル治療を受けた18歳以上の安定狭心症患者さんが対象です。